

次期大阪市教育振興基本計画について（資料編）

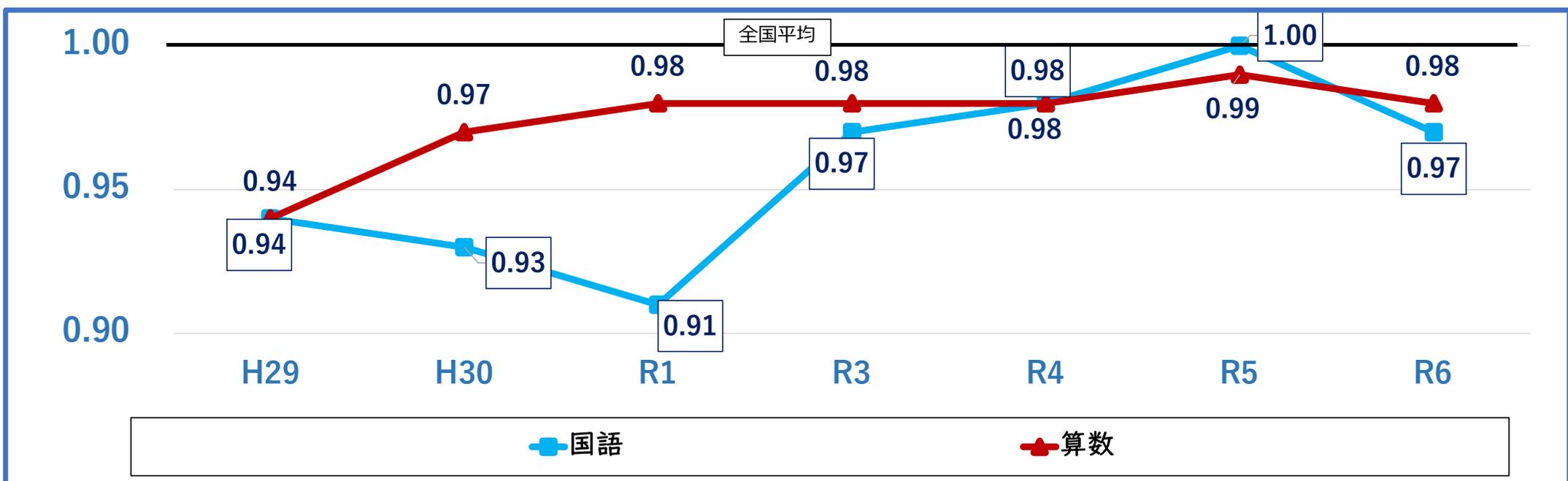
全国学力・学習状況調査 大阪市の結果（小学校）

資料 1 - 1

《対全国比の推移》

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
国語	0.94	0.93	0.91	0.97	0.98	1.00	0.97
算数	0.94	0.97	0.98	0.98	0.98	0.99	0.98

※全国（公立）の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を「対全国比」として表しています。
 ※平成30年度調査までは、A・B、2種類が出題されていたため、問題数を考慮した加重平均で「対全国比」を算出しています。



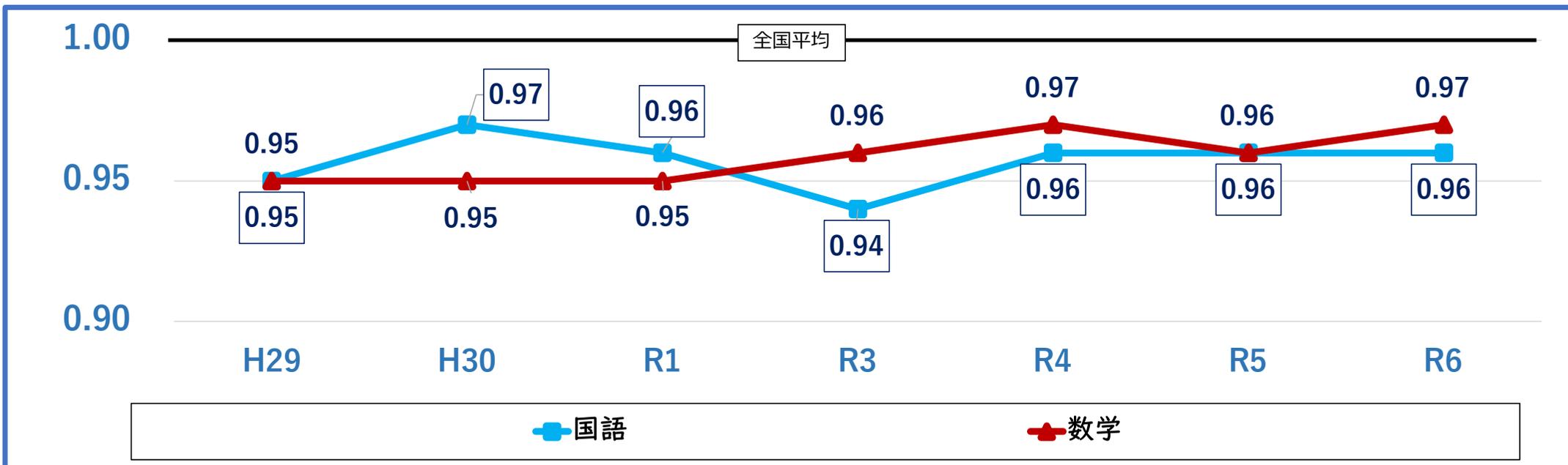
全国学力・学習状況調査 大阪市の結果（中学校）

資料 1 - 2

《対全国比の推移》

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
国語	0.95	0.97	0.96	0.94	0.96	0.96	0.96
数学	0.95	0.95	0.95	0.96	0.97	0.96	0.97

※全国（公立）の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を「対全国比」として表しています。
 ※平成30年度調査までは、A・B、2種類が出題されていたため、問題数を考慮した加重平均で「対全国比」を算出しています。

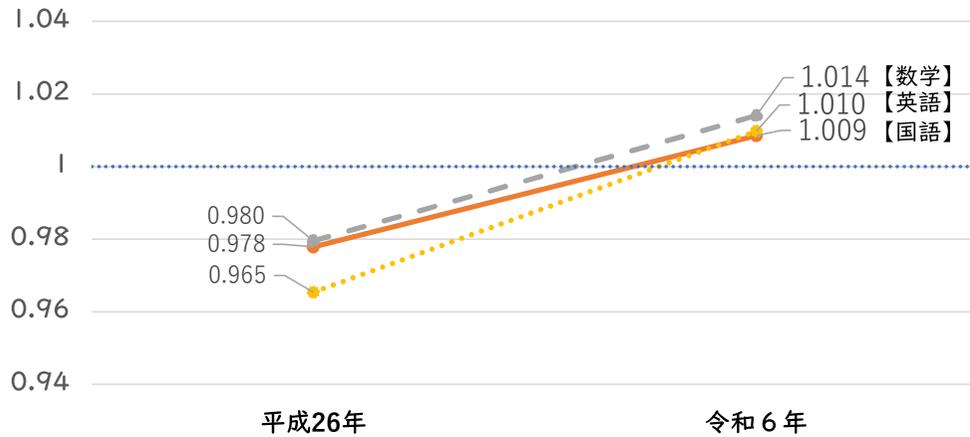


大阪府 中学生 チャレンジテスト 大阪市の結果

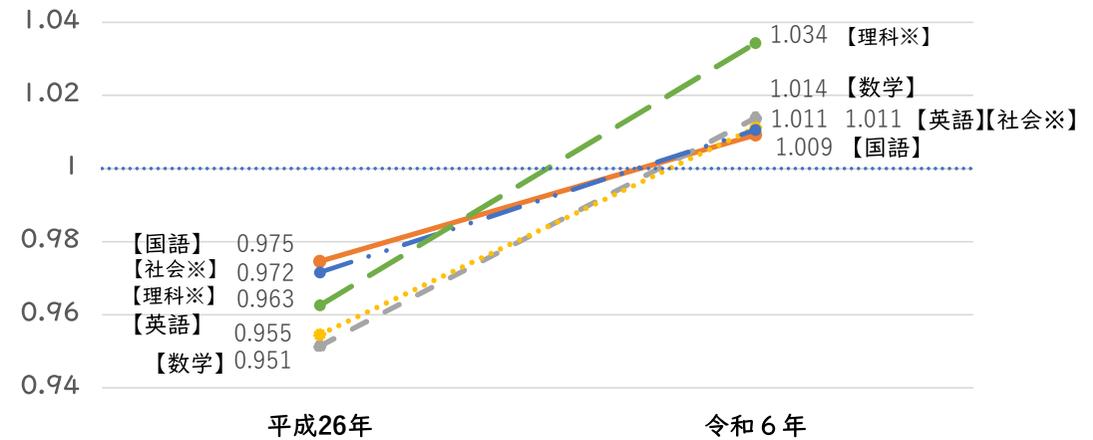
資料 1-3

※中2の【理科】【社会】については、【理科A・B】【社会A・B】（平成26年度は社会A・B・C）の結果を加重平均にして示しています。
 ※平均無解答率は、小さいほど良好な結果を表しています。

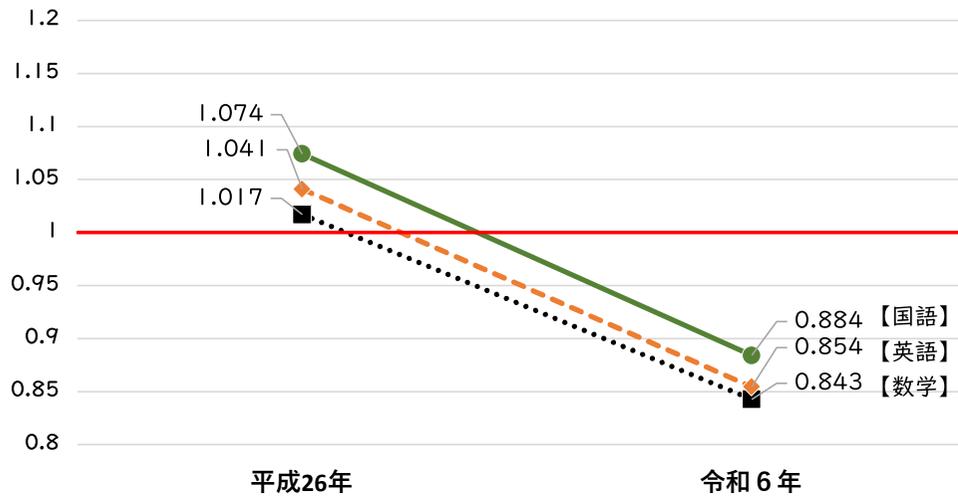
【中1 各教科平均点 対府比経年推移】



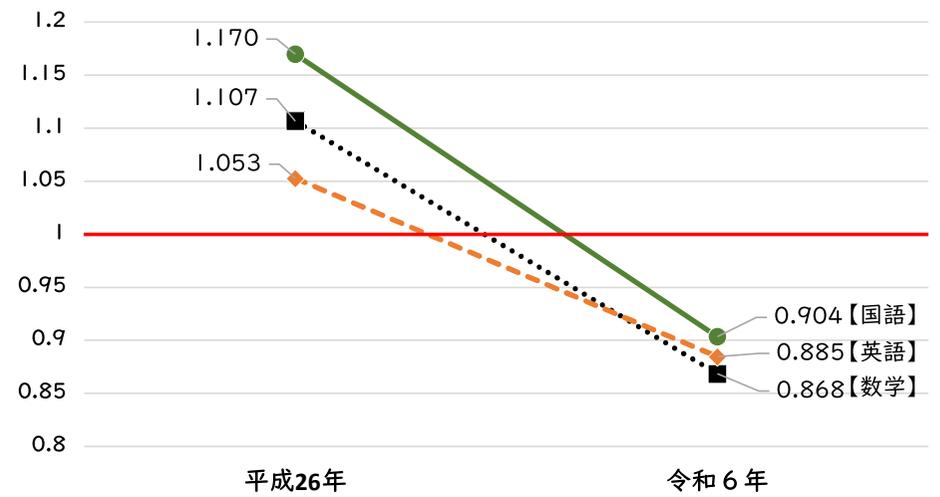
【中2 各教科平均点 対府比経年推移】



【中1 各教科無解答率 対府比推移】



【中2 各教科無解答率 対府比推移】



全国学力・学習状況調査における区分Ⅳの児童生徒の割合の推移

資料 1 - 4

小学校

※ 数値は区分Ⅳの児童生徒の割合を示しています。

国語	R1	R3	R4	R5	R6
全国	23.5	20.9	20.9	24.0	24.6
大阪市	30.4	22.3	23.2	25.1	27.2
差	6.9	1.4	2.3	1.1	2.6

算数	R1	R3	R4	R5	R6
全国	19.5	21.5	23.7	19.5	20.0
大阪市	22.7	24.2	25.8	21.2	21.8
差	3.2	2.7	2.1	1.7	1.8

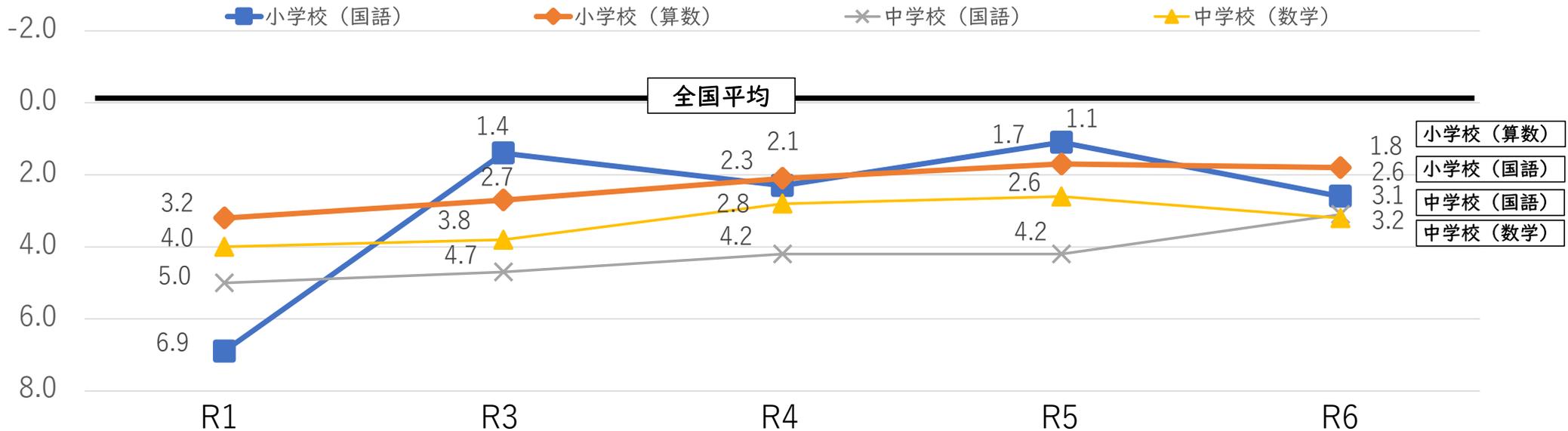
中学校

国語	R1	R3	R4	R5	R6
全国	21.4	18.7	21.4	19.4	18.9
大阪市	26.4	23.4	25.6	23.6	22.0
差	5.0	4.7	4.2	4.2	3.1

数学	R1	R3	R4	R5	R6
全国	20.6	18.6	19.0	17.6	20.3
大阪市	24.6	22.4	21.8	20.2	23.5
差	4.0	3.8	2.8	2.6	3.2

【学力に課題の見られる児童生徒（区分Ⅳ）の割合における全国との差の経年比較】

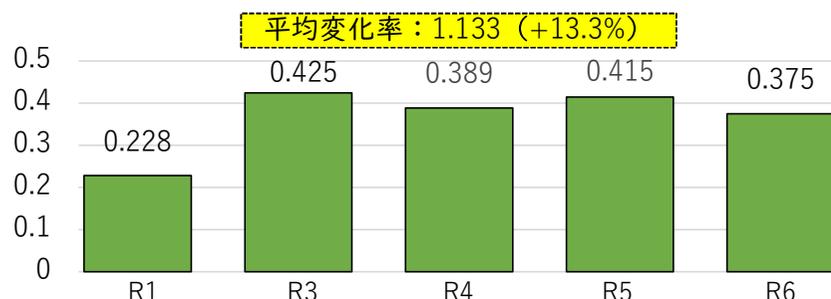
※大阪市と全国との差の値は、小さいほど良好な結果を表しています。



全国平均を超える学校の推移

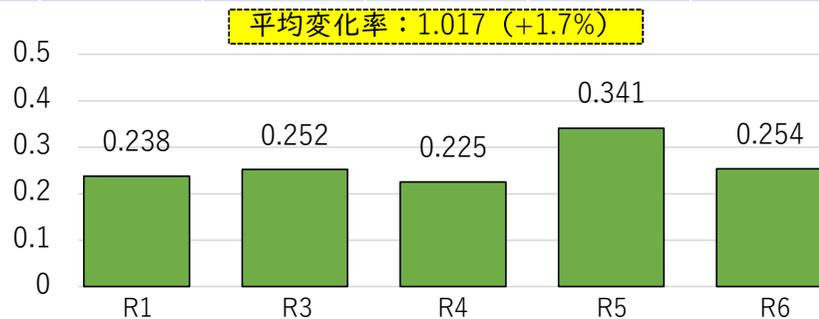
小学校

年度 (本市の学校数)	R1 290校	R3 287校	R4 283校	R5 282校	R6 283校
国語	66	122	110	117	106
本市全体に 占める比率	0.228	0.425	0.389	0.415	0.375
変化率	—	1.864 (+86.4%)	0.915 (-8.5%)	1.067 (+6.7%)	0.904 (-9.6%)

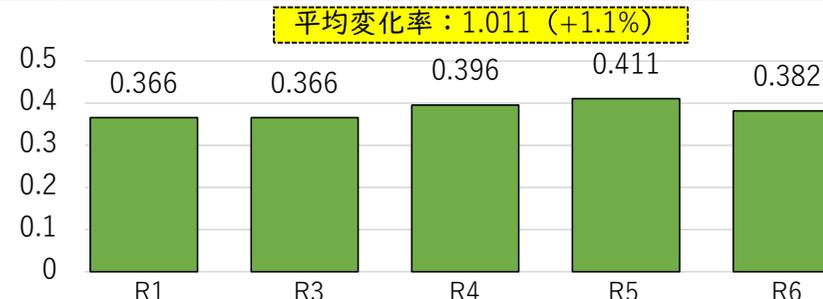


中学校

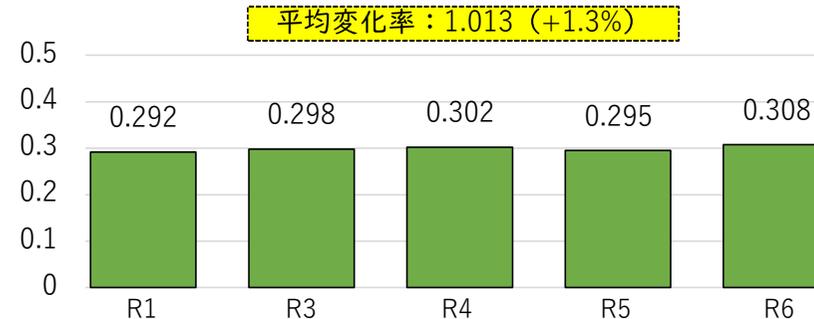
年度 (本市の学校数)	R1 130校	R3 131校	R4 129校	R5 129校	R6 130校
国語	31	33	29	44	33
本市全体に 占める比率	0.238	0.252	0.225	0.341	0.254
変化率	—	1.059 (+5.9%)	0.893 (-10.7%)	1.516 (+51.6%)	0.745 (-25.5%)

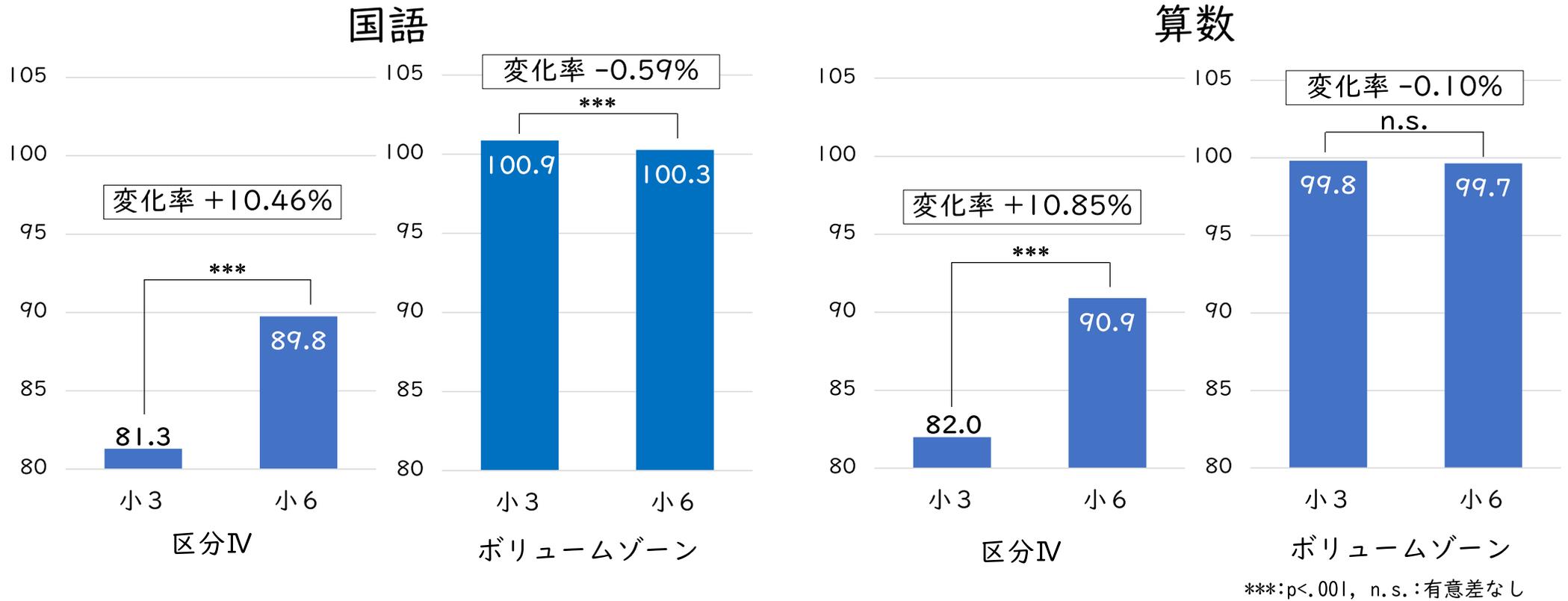


年度 (本市の学校数)	R1 290校	R3 287校	R4 283校	R5 282校	R6 283校
算数	106	105	112	116	108
本市全体に 占める比率	0.366	0.366	0.396	0.411	0.382
変化率	—	1.000 (±0.0%)	1.082 (+8.2%)	1.038 (+3.8%)	0.929 (-7.1%)



年度 (本市の学校数)	R1 130校	R3 131校	R4 129校	R5 129校	R6 130校
数学	38	39	39	38	40
本市全体に 占める比率	0.292	0.298	0.302	0.295	0.308
変化率	—	1.021 (+2.1%)	1.013 (+1.3%)	0.977 (-2.3%)	1.044 (+4.4%)





(使用データ) : 大阪市小学校学力経年調査 (令和3年度小学3年生および令和6年度小学6年生)

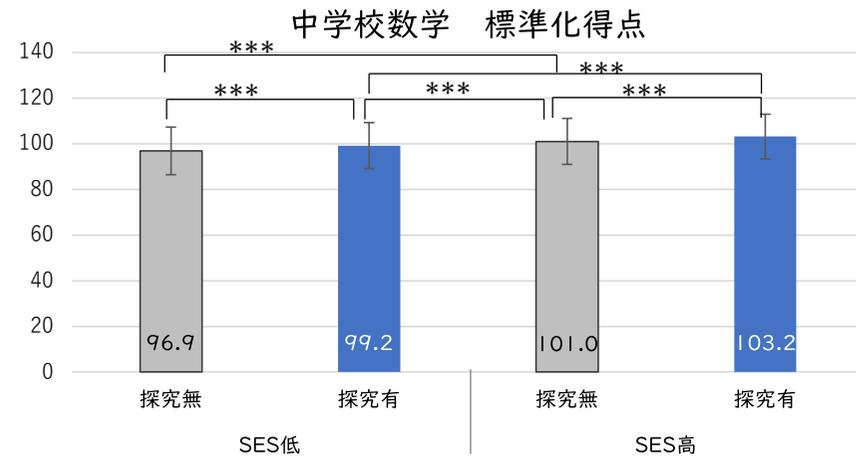
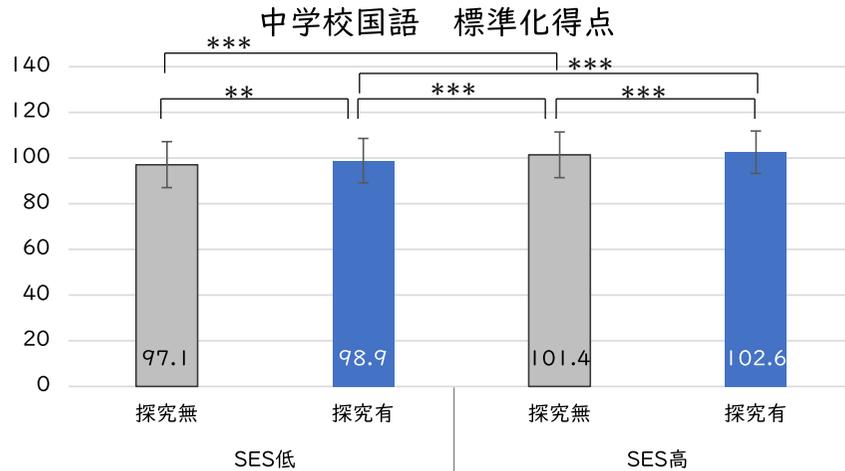
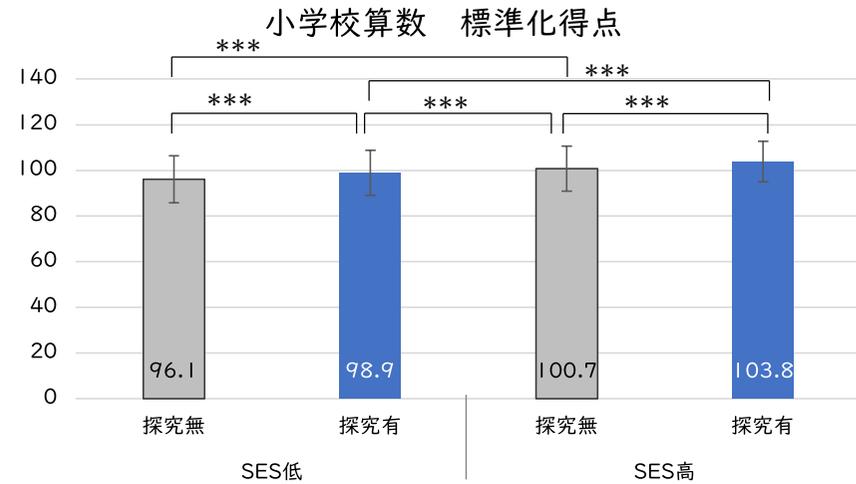
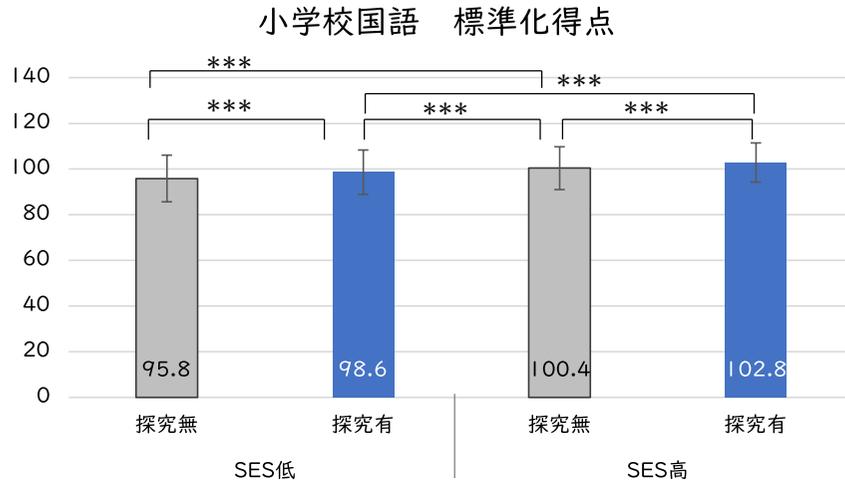
※同一集団による対応のあるデータで分析しています。

※変化率は、(小6の平均標準化得点-小3の平均標準化得点)÷小3の平均標準化得点×100で算出しています。

- 小学3年生時点で「区分Ⅳ」と「ボリュームゾーン（区分Ⅱ・Ⅲ）」の児童について、3年生時と6年生時の平均標準化得点を比較すると、ボリュームゾーンにあたる層の変化率は、区分Ⅳの変化率より小さい。

(他の年度の児童についても、同様の傾向が見られた。)

①探究に取り組んでいる児童生徒はSESの高低にかかわらず学力が高い傾向にある。



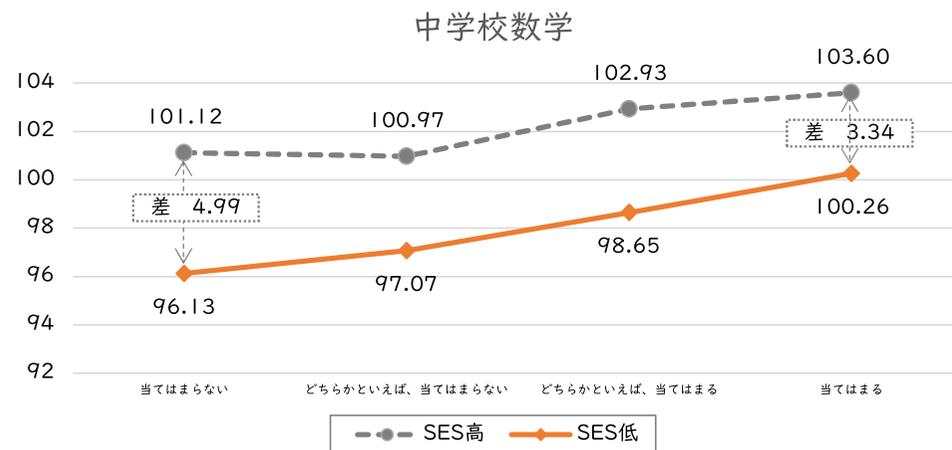
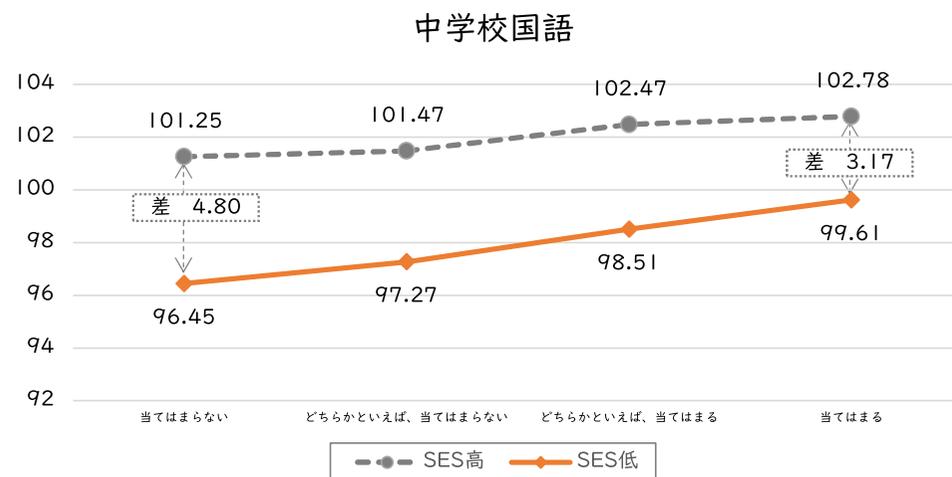
※（使用データ）：令和6年度全国学力・学習状況調査
 p<0.01, *: p<0.001
 全てにおいてP for trend <0.001 となり、上昇傾向が有意にみられた。
 SES (Socio-Economic Status 家庭の社会的背景) は、児童生徒質問紙における蔵書数を用いて算出し、大阪市における中央値より上を「高」、下を「低」とした。

②中学校では、SESが低い生徒において総合的な学び（探究）による学力への影響が強くみられる。

	小学校		中学校	
	b	β	b	β
国語				
係数	92.94		95.12	
総合的な学び（探究）	1.65	0.14***	1.12	0.17***
SES高低	4.93	0.20***	5.45	0.08***
交互作用	-0.25	-0.01	-0.54	-0.02*
算数・数学				
係数	93.11		94.20	
総合的な学び（探究）	1.70	0.14***	1.49	0.11***
SES高低	4.77	0.21***	5.26	0.17***
交互作用	-0.02	0.00	-0.42	-0.01†

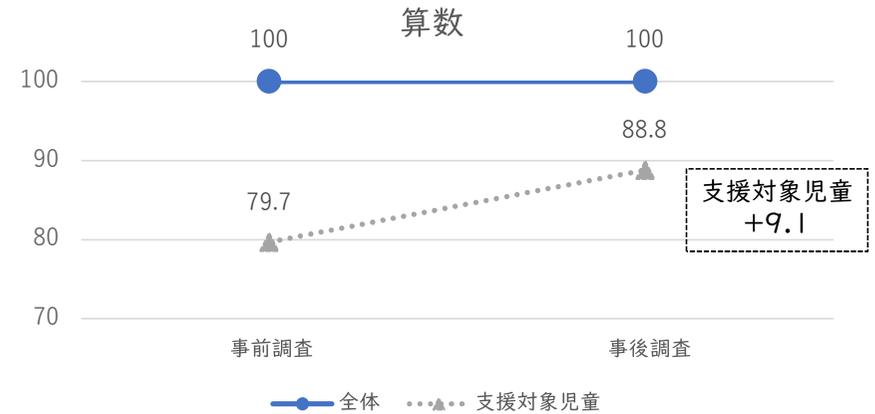
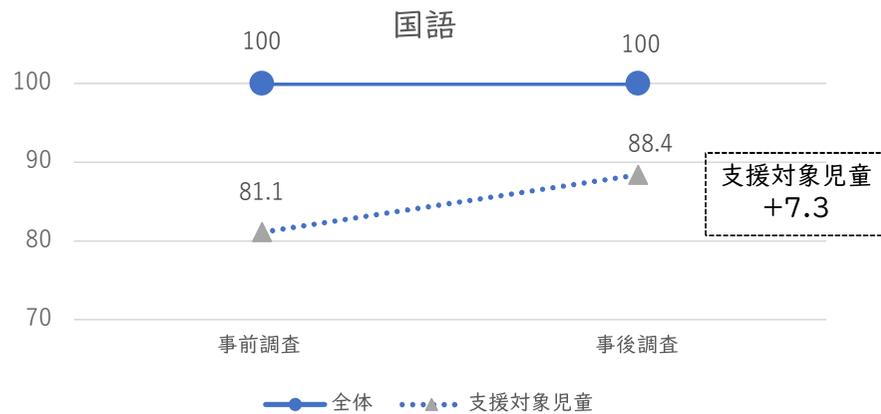
†: $p < 0.10$, *: $p < 0.05$, ***: $p < 0.001$

b: 偏回帰係数, β : 標準偏回帰係数



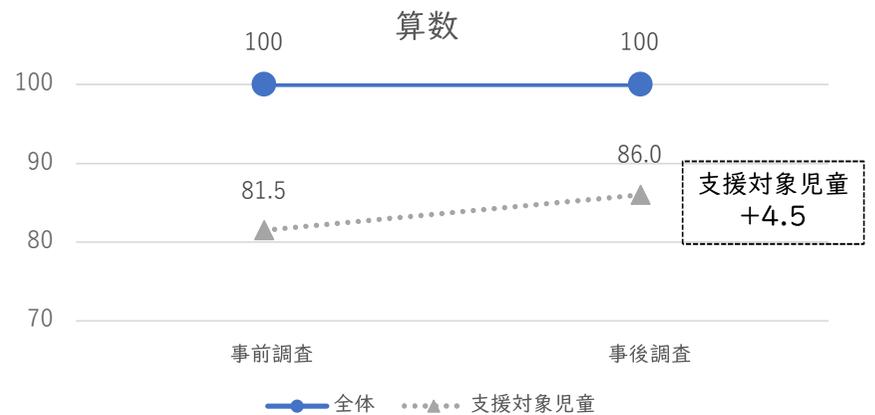
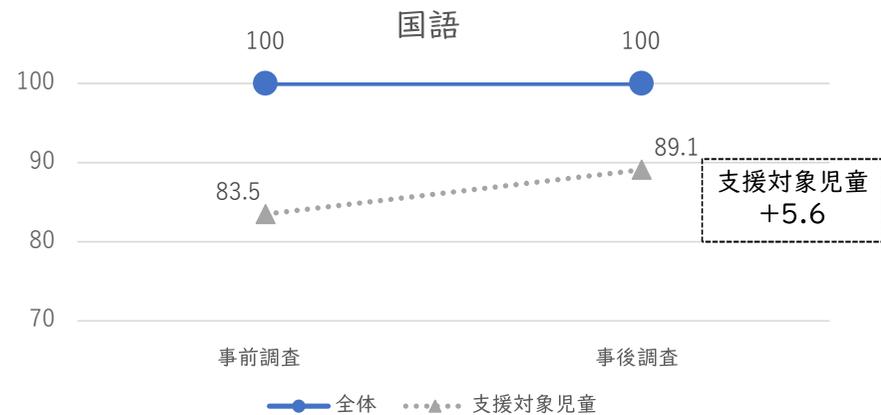
※数値は事前調査・事後調査ともに受検している児童の標準化得点を示しています。
 ※標準化得点は受検者（全体人数）の平均を100として、統計的に計算しています。

2年生【全体人数】 国語…235人 算数…232人 【支援対象人数】 国語・算数…19人



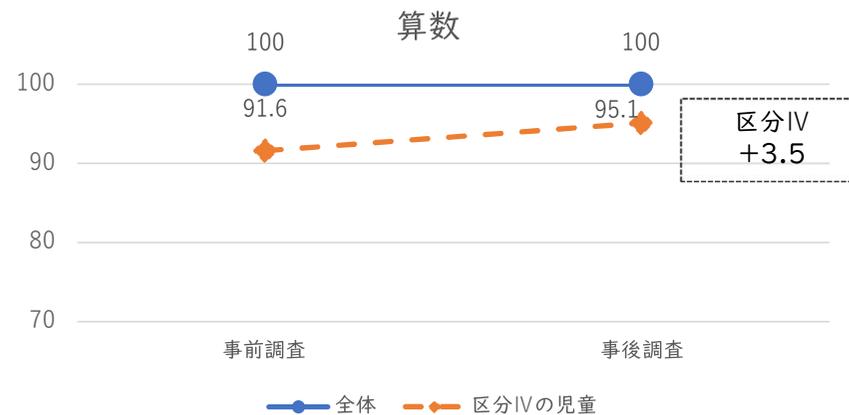
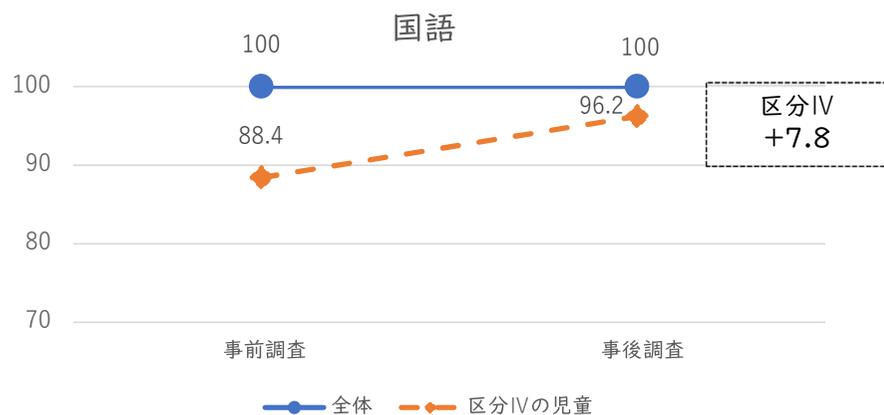
3年生【全体人数】 国語・算数…272人

【支援対象人数】 国語・算数…21人



※数値は事前調査・事後調査ともに受検している児童の標準化得点を示しています。
 ※事前の調査における各学級の児童の正答分布より、概ね下位25%に属する集団を区分Ⅳとして分析しました。支援対象児童は区分Ⅳの数値には含んでいません。
 ※標準化得点は受検者（全体人数）の平均を100として、統計的に計算しています。

2年生【全体人数】 国語…235人 算数…232人 【区分Ⅳの人数】 国語…26人 算数…40人



3年生【全体人数】 国語・算数…272人

【区分Ⅳの人数】 国語…33人 算数…50人

